

平成 29 年度
特別養護老人ホームいずみ

事業報告書

特別養護老人ホームいずみ
短期入所サービスいずみ
デイサービスセンターいずみ
訪問介護サービスいずみ
いずみ指定居宅介護支援事業所

社会福祉法人 悠々会

目 次

1. 特別養護老人ホームいずみ(短期入所サービスいずみ)	…… 1
1、入所状況の推移	…… 1
2、利用者生活支援の充実強化	…… 2
3、精神生活の充足活動	…… 3
4、健やかな身体維持の確保	…… 3
5、楽しい食生活を指して	…… 4
6、施設強化事業	…… 6
2. デイサービスセンターいずみ	……13
1、利用実績	……13
2、各種サービスの充実	……13
3. 訪問介護サービスいずみ	……15
1、基本方針	……15
2、活動内容	……15
3、利用者要介護状態区分	……15
4、提供サービス種類別利用状況	……16
5、訪問介護利用実績	……16
4. いずみ指定居宅介護支援事業所	……17
1、新規居宅サービス計画依頼件数	……18
2、介護保険請求件数	……18
3、認定調査提出件数	……18

1. 特別養護老人ホームいずみ (短期入所サービスいずみ)

はじめに

年々入所者の高齢化、介護度の重度化が進む中、平成 27 度の介護保険制度の改正に伴い、入所判定基準が要介護度3以上(特例を除く)になったことで一層中重度の要介護者の対応強化が求められるようになった。山形県並びに寒河江市特別養護老人ホーム入所指針に基づき、「入所判定会」を設置し、本人の状態や家庭環境、経済状況等を十分に協議したうえで、緊急性を伴うケースについてもその重要性を鑑み適正に対応した。

1. 入所状況の推移

① 入所サービス事業の稼働率の確保

入所定員80名に対し、年間を通して 97.74%の稼働率を確保した。

表 1 入所サービス稼働率の推移 p 7

表 2 性別年齢別・要介護度表 p 8

② 短期入所生活介護事業の利用状況

昨今、短期入所サービス利用者の重度化が進んでおり、指定居宅介護支援事業所及び包括支援センター、医療機関との連携を密にし、病院を退院後、在宅復帰が困難な方も積極的に受け入れた。

一日利用定員 16 名に対し、年間を通して 73.85%の稼働率を確保した。

2. 利用者生活支援の充実強化

集団的生活条件のもとで、利用者をより深く理解し、個別的に快適な生活を支援するとともに継続した研究実践の積み重ねにより、更なる改善を図ることに努めた。

① 生活環境向上ケアの展開

居室担当介護員と入所者及び家族との好ましい人間関係の確立と生活ニーズの把握に努め、そのニーズの即応充足を図る適切な生活支援処遇を実践した。

② 生活支援処遇目標の確立

介護員・看護師・栄養士などあらゆる面からのサポートを行うため介護プランを作成し、個々のニーズに沿った処遇目標の策定、介護の効率化、責任の明確化に努めた。

③ ADLの把握

利用者の生活ニーズと生活支援処遇の原点であるADL能力の調査及び評価を実施し、状況の変化に対応するため、常に個々人の把握に努めた。

④ 認知症対策の研究的実践

精神科医師の月2回の定期検診に基づき、認知症老人の心理、対応等を学ぶと共に介護検討会議などをおして、一人一人の処遇の改善、向上に努めた。

⑤ 家族会との連携

家族会を開催し、施設と家族との意見交換により、入所者の処遇改善に努めた。

⑥ 週2回の入浴の実施

個別の身体状況にあった入浴の実施及び快適、安全、清潔な入浴に努め、リラックスした入浴への配慮を行った。

3. 精神生活の充足活動

入所者の障害の軽減ないし克服を目指し機能回復訓練、行事、レクリエーションなどの実践によって得られる精神的・身体的充足は大きなものである。

① 生活リハビリの実践

生活の全てがリハビリという視点にたち、日常生活の中で自分のできる範囲のことは、極力自立支援の気持を持ち危険の無いよう見守りと一部介助を行なう、生活リハビリを実践した。

② レクリエーションの充実

外に出る機会が少ない入所者を季節に応じ、桜やつつじなどの見学を兼ねドライブや散歩に出かけ気分転換を図った。

表 3 年間行事 p 9

③ 理美容の実施

理美容については、理容業者有志の積極的協力を頂き、定期的を実施した。

身だしなみ・衣替えなどの衣類整理などに努め、入所者の生活の向上に努めた。

4. 健やかな身体維持の確保

入所者の高齢化や介護の重度化により施設において医療は不可欠であり、健康管理が重要である。嘱託医並びに医療機関との円滑な連携を図りながら早期の治療に努めた。

診療体制の確保

① 協力病院との緻密な連携

入院治療を必要とする場合は協力病院との連携を図り、入院治療の体制を確保した。

表 4 入所者入院日数 p 10

② 主治医定期検診及び往診診療の確保

内科週二回、精神科月二回の定期日以外も必要に応じ、その他の診療科目も含め随時、適時の診療を確保した。

表 5 主治医診察(回数) p 10

表 6 往診及び受診(外来)ホーム p 10

表 7 往診及び受診(外来)ショート p 10

③ 水分補給の徹底

尿路感染症対策及び脱水症状の防止は、高齢者の健康維持に最低限の必要不可欠事項であり、当施設においては、個別的対応にて日中はもちろんのこと夜間においても必要に応じ水分補給に努めた。

④ インフルエンザ等感染症について

29年度は入所者1名がインフルエンザに罹患したが、職員は手指消毒やうがいの励行を徹底し、加湿器の活用や消毒液の噴霧等により感染の拡大防止に努めた。

罹患者については個室対応、点滴等により早期に対応し重篤化した利用者はいなかった。その他ノロウイルス等の罹患者はなし。

表8 週間予定表 p 11

表9 状況報告 p 11

5. 楽しい食生活を目指して

行事食等を取り入れ、また温かいものは温かく、冷たいものは冷たく適時適温の食事を提供するとともに環境に配慮し、喜ばれる食卓づくりに努めた。

更に、安心して食べていただくために、新鮮な食材を購入し調理作業工程に最善の注意を払いながら食中毒予防に努めた。

① 利用者にあった食事形態

見た目にも食欲が出るような盛り付けを目指し、ミキサー食、軟菜食、常食の3形態での提供を継続的に実施しました。

以前の超刻み食には、素材が何かわからない物もあったが、軟菜食は何の料理かわかるようにある程度形が残り、舌でもつぶせる硬さに出来上がるように、素材の選択と調理に工夫をした。

② 変化に富んだ食事の提供

- 毎月誕生会、ホーム喫茶にあった献立を実施。
- 旬の素材を利用した献立を取り入れると共に、年間行事に合わせた献立を実施。

③ 経口からの食事摂取の維持

嚥下障害を持つ入所者ができる限り経口から食事摂取ができるよう個別の取り組みを行い生活の資質の向上に努めた。

④ 他職種との連携

介護・看護など他職種職員との密接な連携のもとに、入所者の健康状態の変化など、随時適時に食事の量及び献立内容の変更を行ない対応に努めた。

⑤ 衛生管理の徹底

調理器具の殺菌、厨房内の清掃を徹底的に行ない、食中毒予防のため細心の注意を払うと共に、献立内容及び食材を吟味し、勉強会を実施するなど安全な食事提供に努めた。

6. 施設強化事業

業務運営方針に基づき、施設利用者の処遇向上及び環境整備のみならず、施設職員による適切な職場環境の保全整備を含め、あらゆる面からの支援に努めた。

(1) 災害時の対応について

地域消防団及び西村山広域行政事務組合消防署の積極的な協力体制のもと計画的に防災訓練を実施することができた。

また、村山地区の高齢者施設間の災害時施設相互応援協定を締結し、災害時における施設間の連携体制を整えた。

(2) 実習・研修の受入について

将来老人福祉施設に働く人材の育成はもちろんのこと、職員自己啓発の意識付けの一環として積極的に実習生の受入を行ない、職員自らも初心に返ることができ、良い刺激を受け現場にも良い影響を受けた。

表10 実習受入状況 p 11

(3) 職員研修について

職場にとって、人材育成が最重要項目であり、山形県社会福祉研修所及び山形県老人福祉施設協議会の主催する外部研修を中心に職員を派遣し、基礎知識の習得に努めた。

また、職場外研修への参加は、処遇に関する情報交換を行う場所としても有効に活用することができた。

表11 研修状況報告書 職場外研修・職場内研修 p 12

平成29年度 入所サービス稼働率の推移

表 1

	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム				短 期 入 所			
	利用者 数(a)	利用日 数(b)	稼働可能 日数(c)	利用率 (b/c)	利用者 数(a)	利用日 数(b)	稼働可能 日数(c)	利用率 (b/c)
4月	83	2,368	2,400	98.67	18	388	480	80.83
5月	81	2,447	2,480	98.67	17	403	496	81.25
6月	80	2,396	2,400	99.83	17	410	480	85.42
7月	80	2,478	2,480	99.92	18	385	496	77.62
8月	83	2,437	2,480	98.27	15	375	496	75.60
9月	83	2,334	2,400	97.25	17	351	480	73.13
10月	80	2,362	2,480	95.24	15	322	496	64.92
11月	80	2,264	2,400	94.33	15	327	480	68.13
12月	81	2,421	2,480	97.62	14	341	496	68.75
1月	83	2,398	2,480	96.69	12	363	496	73.19
2月	82	2,210	2,240	98.66	13	319	448	71.21
3月	82	2,426	2,480	97.82	12	329	496	66.33
合計	978	28,541	29,200	97.74	183	4,313	5,840	73.85

平成29年度 性別年齢別・要介護度表

表 2

(イ) 年齢別分布表

平成30年3月31日現在

性別 \ 年齢	～64	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	合計
男性	0	1	2	6	3	0	12
女性	0	1	5	23	34	2	65
合計	0	2	7	29	37	2	77
比率(%)	0	2.6%	9.1%	37.7%	48.1%	2.6%	100

(ロ) 平均年齢

平均年齢	男性	83.69歳
	女性	89.03歳
	合計	88.48歳

(ハ) 要介護度別分布表

要介護度	人数	比率(%)
要介護 1	1	1.3
要介護 2	2	2.6
要介護 3	12	15.6
要介護 4	30	39.0
要介護 5	32	41.6
合計	77	

要介護度4・5
80.6%

平均介護度 4.2

平成29年度 年間行事

表 3

月	行 事	慰 問 な ど
4月	バスハイク 花見 誕生会	陵東中学校前通り・長岡山・八幡神社 琴操会慰問 大正琴演奏
5月	上河原子供会 子供神輿 中河原子供会 子供神輿 バスハイク (つつじ狩り) バスハイク (ヒメサユリ鑑賞) 誕生会	長岡山つつじ公園 大江町大山自然公園 職員による歌
6月	誕生会	なつメロ愛好会による歌
7月	誕生会 バスハイク (あじさい観賞)	紅花歌謡会による歌・踊り テルメ柏陵
8月	盆供養 誕生会	龍洞寺・長泉寺 (対象者25名、ご遺族9名出席) 鈴木歌謡愛好会による歌
9月	バスハイク (彼岸花観賞) 誕生会	慈恩寺 寒河江学園13名による合唱
10月	敬老会(米寿賀詞贈呈式)・誕生会 バスハイク (菊まつり、紅葉狩り)	琴操会慰問 大正琴演奏 西川町菊まつり
11月	誕生会	三泉小学校2～4年生 (40名)合唱
12月	家族交流会 クリスマス会・誕生会	家族33家族出席 職員による歌
1月	誕生会	職員による歌・マジックショー
3月	誕生会	職員による歌

入所者入院日数

表 4

(平成30年3月31日現在)

月	人数	入院日数	月	人数	入院日数
4月	0	0	10月	3	65
5月	0	0	11月	3	60
6月	0	0	12月	2	20
7月	0	0	1月	1	3
8月	0	0	2月	0	0
9月	2	28	3月	0	0
延べ人数 11 名 実人数 5 名 平均日数 16 日					

表 5

主治医診察(回数)

(平成30年3月31日現在)

科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	診察人数	1,654	1,579	1,758	1,599	1,808	1,555	1,597	1,584	1,561	1,469	1,499	1,639	19,302
	診察回数	21	20	22	20	23	20	21	21	20	19	19	21	247
精神科	診察人数	8	8	8	8	5	9	9	9	8	8	8	7	95
	診察回数	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	23
計	診察人数	1,662	1,587	1,766	1,607	1,813	1,564	1,606	1,593	1,569	1,477	1,507	1,646	19,397
	診察回数	23	22	24	22	24	22	23	23	22	21	21	23	270

往診及び受診(外来)

ホーム

表 6

(平成30年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	3	2	0	4	1	1	3	3	2	1	3	1	24
外科	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
整形	3	5	6	1	1	1	1	0	4	1	1	2	26
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	1	2	2	3	3	1	1	2	1	1	1	1	19
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
歯科	0	0	0	0	1	0	2	0	1	2	0	0	6
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	5
婦人科	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
精神科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
計	7	10	8	9	8	5	8	6	10	7	5	5	88

往診及び受診(外来)

ショート

表 7

(平成30年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形	1	1	0	1	0	0	0	0	4	2	1	2	12
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	7
計	2	2	1	2	1	0	1	0	7	4	2	3	25

表8 週間予定表

曜日	業務内容	医師回診
月	定期処方箋	
火	定期処方箋、毎週豊岡医院	豊岡茂医師
水	オートクレーブ清掃	
木	処方薬整理	
金	隔週小原病院	小関暁之医師(第1・3)
	回診車整理、材料滅菌	豊岡茂医師
	血圧測定	
日	医務室清掃	

表9 状況報告

月	内容
6月	入所者健康診断
7月	入所者健康診断
8月	職員健康診断
11月	インフルエンザ予防接種 全 員
12月	入所者健康診断
3月	職員健康診断

表10 平成29年度 実習生受入状況

実習期間	依頼機関	人数	内容
5月16日～5月26日	県立山辺高等学校 2年	3	介護実習
6月19日～6月30日	県立山辺高等学校 2年	2	介護実習
7月24日～8月25日	明德福祉専門学校 2年	1	介護実習
8月28日～9月8日	県立山辺高等学校 3年	2	介護実習
10月2日～10月6日	県立山辺高等学校 1年	2	介護実習
10月16日～11月29日	明德福祉専門学校 2年	1	介護実習

平成29年度 研修報告書

表11 施設外研修

職 場 外 研 修	研 修 名	月 日		主 催	参加者数
	介護保険関連事業所説明会	5月25日		寒河江市	1
	第1回栄養士研究会	5月25日		県老施協	2
	生活相談員研究会・総会・定例会	5月25日	5月26日	県老施協	1
	DSC生活相談員研究会総会・第1回定例会	6月9日		県老施協	1
	村山地区特養災害時施設相互応援協定施設全体会議	6月16日		村山地区特養ホーム災害時施設相互応援協定	1
	介護保険施設等集団指導及び制度等説明会	6月28日	6月29日	県村山総合支庁	4
	特定給食施設等栄養士及び調理師等研修会	8月29日		村山保健所	1
	安全運転管理者講習	9月12日		県公安委員会	1
	山形県老人福祉施設協議会特養部会施設長研修会	9月26日	9月27日	県老施協	1
	西村山管内特別養護老人ホーム施設長会議	10月5日		らふらんす大江	1
	DSC生活相談員研究会・第2回定例会	10月12日		県老施協	1
	第2回栄養士研究会・調理員合同研修会	10月13日		県老施協	1
	寒河江市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク協議会	10月25日		寒河江市	1
	山形県社会福祉振興会事務担当者研修会	11月6日		県社会福祉振興会	1
	生活相談員研究会多職種合同研究会	11月9日	11月10日	県老施協	1
	通報・備蓄品調達訓練	11月15日		村山地区特養ホーム災害時施設相互応援協定	1
	DSC職員研修会	11月16日		県老施協	1
	社会福祉法人決算セミナー	11月29日		県老施協	1
	DSC生活相談員村山ブロック研究会	12月15日		県老施協	1
寒河江市介護保険関連事業所連絡会、発表会	2月15日		寒河江市	2	
介護保険施設等集団指導及び制度等説明会	3月19日	3月20日	県村山総合支庁	3	

施設内研修

職 場 内 研 修	研 修 名	月 日		対 象 者	参加者数
	訪問介護員研修	月1回		訪問介護員	4名
	介護検討会	適宜		介護職員	

2. デイサービスセンターいずみ

1. 利用実績

デイサービス利用状況

表 13 各月利用実施状況
(利用者数・前年比) p 14

表 14 介護度別利用状況 p 14

① 利用者のニーズへの対応

定期の利用日以外や時間外など多様化するニーズに対応した。

② 指定居宅介護支援事業所及び関係機関との連携

居宅介護支援事業所及び関連機関と密に連携を図り通所介護の利用促進に努めた。また、介護予防対象者については寒河江市地域包括支援センター他、関係機関との連携に努めた。

2. 各種サービスの充実

社会環境及び身体状況を含む多様化した利用者ニーズをよりの確、迅速に把握することによりサービスの充実に努めた。

① リハビリを兼ねたレクリエーションを利用者の身体状況、精神状況に合わせて実施した。

② 多様化したニーズ(利用日の変更や複数回数利用等)に対し、個別に対応した。

③ 「デイサービスいずみ通信」(次月の行事予定、いずみの近況、介護保険の連絡事項などを掲載 月 1 回)、連絡帳等を通して利用者、介護者との連絡を密にし、開かれた施設を目指し情報提供に努めた。

デイサービス利用状況

表13 各月利用実施状況（利用者数・前年比）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 28 年度	実施日数	26	26	26	26	27	26	26	26	25	25	24	27	310
	延べ利用者数	335	337	348	348	352	361	344	315	309	277	277	327	3930
	平均利用人数	13	13	13	13	13	14	13	12	12	11	12	12	12.68
平成 29 年度	実施日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	25	24	27	310
	延べ利用者数	327	347	338	329	342	358	350	316	282	250	261	311	3811
	平均利用人数	13	13	13	13	13	14	13	12	11	10	11	12	12.29

表14 介護度別利用状況

(H30.3.31現在)

	男	女	合計
事業対象者	0	3	3
要支援1	0	0	0
要支援2	0	2	2
介護度1	0	9	9
介護度2	0	8	8
介護度3	2	6	8
介護度4	0	2	2
介護度5	0	2	2
合計	2	32	34

3. 訪問介護サービスいずみ

1. 基本方針

居宅支援事業所等との連携を図り、利用者の在宅サービス計画に基づき、利用者及び介護者を援助し、利用者から信頼されるようサービスの提供に努めた。また、特定事業所としての体制を整え、資質の向上とサービスの充実に努めた。

2. 活動内容

介護保険制度に基づき身体介護(食事介助・入浴介助・排泄介助・清拭・体位変換)生活援助(買物・調理・掃除・洗濯)の適正なサービス提供に努めた。

寒河江市と生活支援・ホームヘルプサービス事業の委託契約を結んだ。

3. 利用者要介護状態区分

表15

(単位:人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要支援2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3
要介護1	2	3	3	3	4	4	4	4	3	2	2	2
要介護2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3
要介護3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
要介護5	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
合計(名)	15	15	15	14	15	15	14	14	13	14	13	15

4. 提供サービス種類別利用状況(介護予防含まず)

表16

種類 月	介護保険該当				介護保険外
	身体介護	生活援助	身体・生活	合計	生活援助
	訪問回数	訪問回数	訪問回数	訪問回数	訪問回数
4月	98	86	24	208	0
5月	118	94	9	221	0
6月	87	83	9	179	0
7月	96	88	11	195	0
8月	100	83	14	197	0
9月	80	102	13	195	0
10月	77	118	13	208	0
11月	64	91	13	168	0
12月	56	91	13	160	0
1月	53	80	12	145	0
2月	61	78	13	152	0
3月	94	83	9	186	0
合計	984	1,077	153	2,214	0
昨年実績	999	1,089	125	2,213	2

訪問介護利用実績(介護予防含む)

表17 介護保険

月	28年度			29年度		
	ヘルパー数	利用実人数	訪問回数	ヘルパー数	利用実人数	訪問回数
4月	4	16	236	4	15	232
5月	4	18	259	4	15	245
6月	4	18	266	4	15	207
7月	4	18	244	4	14	215
8月	4	18	209	4	15	218
9月	4	17	234	4	15	217
10月	4	16	203	4	14	228
11月	4	14	177	4	14	183
12月	4	15	166	4	13	177
1月	4	14	151	4	14	173
2月	4	15	183	4	13	182
3月	4	15	230	4	15	219
合計			2,558			2,496

市からの委託実績なし

4. いずみ指定居宅介護支援事業所

利用者が要支援・要介護状態となった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう配慮するとともに、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は、特定の居宅サービス事業者に不当に偏することのないよう、公正中立を守ることに努めた。

- (1) 介護保険に関する各種相談に対し、電話相談、面接相談に応じ、保険者である各市町村との連絡調整に努めた。
- (2) 介護予防事業の対象者に対し、寒河江市地域包括支援センターと連携し、支援した。
- (3) 被保険者の要介護認定に係わる申請について、利用申し込み者の意思を踏まえ、必要な協力を行った。
- (4) 介護保険制度の基、ケアマネジメントの理念に沿って、利用者と各種サービスを結びつけながら、在宅介護生活を総合的に支援することに努めた。
- (5) 利用者本人を取り巻く社会的環境と身体的機能についての課題分析を行うとともに家族の希望を取り入れながら情報の収集に努め、専門的な立場から利用者に必要なサービスを総合的に判断し、適切なケアプラン作成を行った。
- (6) 課題分析、ケアプランの結果をもとに利用するサービスの内容、回数又それら提供するサービス事業所との連絡調整、担当者会議を必要に応じ開催した。また、その記録の充実に努めた。
- (7) 利用者の自立支援、介護者の負担軽減を目的とし、常にサービスの継続的な管理と評価に努めた。
- (8) 月1回は定期訪問し、利用者・家族の状態やニーズを把握して各種サービスを紹介・提案し在宅介護が継続できるよう支援を行った。
- (9) 計画的に研修会を開催し、介護支援専門員としての資質向上に努めた。

表18 新規居宅サービス計画依頼件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	1	2	1	0	1	0	0	1	1	1	2	2	12
H29年度	4	1	2	3	2	1	1	0	2	2	1	0	19

月平均2件

表19 介護保険請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	81	76	77	71	69	69	68	67	64	62	61	62	827
H29年度	65	67	65	65	68	70	67	67	62	60	61	59	776

月平均65件

表20 認定調査提出件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28年度	5	5	5	8	8	3	1	7	10	2	6	4	64
H29年度	5	4	6	3	6	4	4	4	5	5	4	4	54

月平均5件